

目次

(1) 事業報告

- 堺市留学生・ボランティア通訳合同防災訓練
- ワン・ワールド・フェスティバル
- 大阪府海外移住家族会講演会「ブラジル最新事情概説」
- 総領事館との第2回意見交換会

(2) 投稿コーナー

- インターン報告「一期一会」
 - 北区域交流まつりに参加して
- ### (3) 外国人情報コーナー
- 税金の話
- ### (4) OFIX 国際交流員のレポート
- フィリピンの教育

(1) 事業報告

■ 堺市留学生・ボランティア通訳合同防災訓練

堺市、堺市留学生交流事業実行委員会、大阪府国際交流財団の共催で、平成24年12月23日に堺市留学生・ボランティア通訳合同防災訓練が行われました。

防災訓練は、避難所を体験する班と被災者を支援する班との2班に分かれ、それぞれのプログラムを体験しました。避難所体験班では、まず、阿倍野防災センターで地震を体感し、地震が起きた場合は第一に身の安全を確保と、火の元の確認や出口の確保等落ち着いて行動することの重要性を学びました。その後、避難所に避難することや安否確認の大切さを学び、堺市役所に設置された仮設避難所で、避難所体験を行いました。避難所とはどういうものか知らなかった留学生が、知らない者同士一つのグループになって順番に避難者名簿の記載や行政担当者への相談などを体験しました。

被災者を支援する班では、災害時の外国人支援の重要性について学んだあと、実際に避難所体験をしている留学生が避難者名簿を記載するサポートをしたり、行政担当者への相談通訳を実施するなど、避難所運営が円滑に行われるための訓練を実施しました。

一日を通してのプログラムに少々疲れ気味の参加者でしたが、参加して楽しかった、勉強になったと言って帰って行きました。OFIX では今後も引き続き災害時の外国人支援事業を実施する予定です。



■ 大阪府海外移住家族会講演会「ブラジル最新事情概説」

OFIXが事務局を務める大阪府海外移住家族会では、2月19日(火)に研修会として(株)タス・インターナショナル 代表取締役 安倍 達宗 氏を講師としてお招きし「ブラジル最新事情概説」と題し講演会を開催しました。

当日は会員、会員紹介のご友人、OFIXボランティア等の他、ご来賓として大阪大学 コミュニケーションデザインセンター 教授 林田 雅至 様、JICA関西、大阪府からご臨席いただき、また一昨年の講師を務めていただいた奈良県ポルトガル語相談員 玉田 エミリア 美恵 様にもご参加頂きました。

日本とブラジルとの懸け橋となる事業に長年携われる講師の安倍様には、急速な経済成長を遂げるブラジルの現状や、ご自身の多岐にわたるビジネスについてお話し頂きました。在日ブラジル人の人材派遣や就職支援を通し、彼らの直面する課題にも触れられ、両国の関係について深く考えさせられる大変有意義な講演となりました。

大阪府海外移住家族会では今後も日系人支援や理解に関する活動を継続していく予定です。



■ ワン・ワールド・フェスティバル

2月2日(土)・3日(日)に、第20回のワン・ワールド・フェスティバルが大阪国際交流センターで開催され、天気にも恵まれ2日間で16,500人の来場者がありました。

このフェスティバルは毎年大阪で開催されている西日本最大の国際協力・交流のイベントで、国際協力にかかわるNGOをはじめとして、国際機関、政府機関、教育機関、企業など様々な機関が活動紹介ブースを出展しています。

OFIXも実行委員会メンバーとして企画の段階から

参加し、広報担当として、在関西の総領事館、各言語のエスニックメディアにも記事を掲載してもらい、FMC OCOLOにも広報協力をお願いしました。

その成果か、昨年までに比べて、外国人来場者数も増加し、日本人来場者と交流し、本当の意味でのワン・ワールド・フェスティバルを開催することができたと思っています。

各国の屋台を集めた「みんなのキッチン」も長蛇の列で外国の珍しい料理を皆さん堪能されていました。



■ 総領事館との第2回意見交換会

平成25年2月12日(火)に、(公財)大遊協国際交流・援助・研究協会主催、大阪府国際交流財団(OFIX)協力の総領事館との意見交換会がホテルプリムローズ大阪で開催されました。

出席者は大遊協の奨学生及びOFIXサポーターの皆様、ならびにそれぞれの母国の総領事館職員、大遊協の役職員、OFIXの役職員、来賓として大阪府府民文化部の楠本国際交流監をお招きして、在関西の総領事館からは中華人民共和国在大阪総領事館、在大阪インドネシア共

和国総領事館、在大阪大韓民国総領事館、在大阪・神戸フィリピン共和国総領事館の皆様のご参列をいただき、大阪大学で学んでいる中国の李泰儒さん、大阪府立大学で学んでいる、大阪府堺留学生会館オリオン寮のチューターでもあるインドネシアのデウイクスリニさんが、それぞれ代表として前向きな発表を行いました。

総領事館の皆様も感謝の意とともに大阪に海外からの留学生を数多く呼び込むための建設的な意見が述べられました。



(2) 投稿コーナー

この度、奈良女子大学からのインターンとして7か月間OFIXで活躍された 王 飛雪さんと、大阪府堺留学生会館オリオン寮でチューターとして活躍されている大阪府立大学の 石原 大己さんから投稿をいただきましたので、ご紹介いたします。

■インターン報告「一期一会」

中国の古都の洛陽市からまいりました 王 飛雪 と申します。皆さまのお陰で、無事に大阪府国際交流財団（OFIX）でのインターシップを終えることができました。7ヶ月の短い間に、色々大変貴重な体験を積むことができたこと、皆さまに深く感謝申し上げます。

私は平成 24 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ポストドクター・インターンシップ推進事業」の支援制度を受けて、昨年の 8 月から今年の 2 月までの間、念願の OFIX でのインターンシップをすることができました。初日から大阪の未来図を描く大阪府の「ブランド・デザイン・大阪」の中国語翻訳を任せられ、パソコンに向かって一生懸命に翻訳しました。とても大事な公式翻訳なので、頻りに辞書を調べて慎重に行いました。出来上がった時には、大分自信がつかしました。その後、ほかの分野でも次々と翻訳を任せていただいて、翻訳をするのと同時に、知らないことも勉強でき、視野が広がりました。また、外国人情報コーナーで「仕事と在留資格」「学校」「健康保険」等に関する中国語通訳の他、OFIX に登録しているボランティアの研修やサポーター

王 飛雪（奈良女子大学人間文化研究科 博士研究員）

連絡会議に、起案からかわらせて頂きました。留学生向けの防災ワークショップ等の活動も体験でき、毎日とても充実した日々でした。OFIX 職員の皆さんから色々教えていただき、とても有意義な 7 か月を過ごすことができました。このインターンシップを通して、日々支えてくれる仲間と共にやり遂げる達成感や喜びを深く味わい、今後とも、一期一会の精神を忘れずに頑張りたいと思います。



■ 北区域交流まつりに参加して

昨年度に引き続き、北区域交流まつりに参加させていただきました。北区域交流まつりとは、堺市北区にお住いの方々の親睦や交流・連帯を深めることを目的としたまつりです。このまつりに西百舌鳥校区として出店をさせていただきました。まつりのために夏から寮生と地域の方で何度も会議を重ねて売り出す商品を検討しました。様々なアイデアが挙げられて、その中から留学生の特色が出せること、特殊な技術を要さずに地域の方も一緒に作れることから各国の手作り料理を売り出しました。材料を留学生が自国から取り寄せる、専門店を探して買い出しに行くことで各国の料理の味が再現できました。

まつりの当日は天候に恵まれ、昨年度よりも多くの方が私たちの店舗に訪れてくださいました。4 商品をそれぞれ 100 人分用意して売り出し、2 商品は午前うちに完売となり、残りの 2 商品もほぼ完売することができました。これは寮生と地域の方が協力し合ったおかげであると感じています。まつりに参加された地域の方の中には、オリオ

大阪府堺留学生会館オリオン寮チューター
石原 大己（大阪府立大学知能情報工学科）

ン寮の新入寮生歓迎会に参加してくださった方もいらっしゃいました。まつりを通して寮生と地域の方の親睦が深まっていることを実感しています。留学生の方で日本のまつりに出店したいという方がおられたら、ぜひオリオン寮に入寮して頂きたいです。



